

○投稿上の諸注意 (2020. 11 月 1 日更新)

／ 1. 投稿原稿作成について／

投稿の際には、どうぞ下記の点にご留意ください。下記の点が満たされていない場合、投稿論文を受稿せずそのまま著者に返送しております。

(1) 原著論文・資料論文の長さには制限があります

[青年心理学研究の投稿規定](#)には、下記のように書かれています(下線は青年心理学研究編集委員会事務局による)。このように原稿を作成してください。

1. 原著論文の長さは、原則として800字×40枚以内とする(図表、文献等を含む)。ただし、然るべき理由がある場合には、これを越えることができる。その場合には、投稿にあたり理由書を提出する。
2. 資料論文の長さは、原則として800字×20枚以内とする(図表、文献等を含む)。
 - 1 2. 図表や写真は、本文に比べ大きな誌面を要する。本誌1頁大のものは、800字原稿用紙3枚に相当する。

* 然るべき理由というのは、展望論文などの場合に引用文献等が多くなることなどを想定しています。実証的な研究の場合には、理由書を提出されても然るべき理由として認められた前例はありません。

* 図表の枚数換算は、青年心理学研究編集委員会事務局が行います。

(2) 図と表は1枚の用紙にひとつです

[日本心理学会の執筆・投稿の手引き](#) (2015 年改訂版)には、下記のように書かれています(下線は青年心理学研究編集委員会事務局による)。このように原稿を作成してください。

p. 33 3.7 表

3.7.1 表の原稿

(1) 表の用紙

表は1 ページに1つの表を書き、引用文献(「本文中」の脚注)のあとに図とは分けて、Table 1 から順におく。

3.7.2 表作成上の一般的注意

(9) 表について本文で言及し、挿入希望位置を本文の中に指定する。

p. 35 3.8 図

3.8.1 図の原稿

(1) 図の用紙

表と同じく、1 ページに1 つの図を描き、引用文献（「本文中」の脚注）のあとに表とは分けて、Figure 1 から順におく。

3.8.2 図作成上の一般的注意

(5) 図について本文で言及し、挿入希望位置を本文の中に指定する。

(3) 最新版の添付票も提出します。

[青年心理学研究の投稿規定](#)には、下記のように書かれています。原著論文・資料論文の投稿の際には、忘れずに提出してください。

*正確には、電子投稿システムにおいては、チェックリストはシステムの中で回答することになるので、紙版や電子ファイルで提出するわけではありません。

21. 論文の投稿に際しては、所定の添付票、チェックリストも提出する。書式は学会 HP を参照すること。

／2. 投稿原稿作成用のテンプレート／

投稿原稿作成用のテンプレートが用意されています。1 ページ 32 字×25 行で、ページ番号も行番号も入っています。ワードファイルをお使いの方はどうぞご活用ください。

／3. 電子投稿において必要となるもの／

1. 添付表

2. 論文原稿（論文本文と引用文献のみです。表紙や要約やキーワードは不要です。作成には「投稿原稿作成用のテンプレート」をご利用ください。著者名・所属を記載しないでください。）

3. 図

4. 表

5. その他（付録、参考論文、修正投稿の場合は査読者からのコメントに対する回答と修正対照表など）

6. 日本語要約と英文アブストラクト(英文アブストラクトは後でも可)はシステムの中で貼り付けてもらうことになります。

*なお、参考論文に関しては、著者名や所属機関名、掲載誌名などは黒塗りで消し、またそれらが推察されてしまうような箇所、謝辞等も消した上で添付してください。

／4. 「二重投稿」について／

二重投稿については、日本心理学会ホームページの“「二重投稿」に対する[公益社団法人日本心理学会の方針](#)（2014.10.1）”を参照ください。